

東日本環境機構 『エコスクール審査』

9月10日（水）に東日本環境機構の審査員お二人にご来校いただき、環境への取り組みについて審査していただきました。

本校では、数年前より国連機関が推進している『エコスクール』に登録し、環境に優しい学校作りを展開しています。毎年審査を受けていますが、最高ランクの認定校に与えられる『グリーンフラッグ』は取得できずに、その次の『グリーンプラウト校』に認定されています。

本年度、東日本環境機構が主催する環境に優しい学校作りに登録させていただこうと5月より取り組んできた取り組みを審査していただきました。

審査の結果、本校は登録校として認定されました。

審査内容は、①環境改善に向けた環境宣言の内容、②環境改善に向けた目標の設定と改善計画の内容、③環境改善計画による実践状況について資料による審査と実際の現地審査が行われました。

〈埼玉県新座市立石神小学校 環境宣言〉

基本理念

新座市立石神小学校では、地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つである事を認識し、新座市立石神小学校における教育の重要な柱として、環境を大切さを学び、環境に優しい学校づくりを進めます。さらに、生涯にわたって環境に優しい生活・行動がとれる児童の育成を目指します。

方針

全教育活動を通して児童が環境問題に関心を持ち、児童が環境に対する人間の責任と役割を理解し、児童が主体的に環境保全活動に参加する態度及び環境問題解決のための能力を育成します。

1 環境教育の実践の推進

(1) 環境教育の全体目標や年間指導計画を作成し、組織的・計画的に取り組みます。

環境に関する授業を実践し、環境問題の科学的認識を深めます。

(2) 環境改善計画を制定し、省エネルギーや省資源活動、環境美化活動や自然保護活動等の実践的活動を推進し、環境保全の精神を涵養し、よりよい環境を創造す

る力を育成します。

2 家庭・地域と一体となった環境活動の推進

この環境宣言の趣旨を全教職員・児童が認識するとともに、保護者、地域の方へ情報を発信し、一人一人が環境に優しい生活を送るよう努めます。

3 地域活動への参加

「春はこぶしの 花におい 夏 空青き 雑木山 秋は紅葉の 平林寺
冬野火止の 屋敷森」と新座市歌に詠まれているこの武蔵野のすばらしい環境の下
に生活・学習していることを十分認識し、「水と緑を大切にした」地域で行われる
美化活動や環境保全に向けた取り組みに積極的に参加し、豊かなまちを築きます。

平成26年 7月 3日

新座市立石神小学校

校 長 寺島宏則
エコスクール委員長 大津俊雅